

患者さんへの臨床研究のお知らせ

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科では、下記の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】

臍帯血移植における非再発死亡リスクスコアの開発

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科 教授 仲宗根秀樹

【研究の対象となる方】

2008年1月から2020年12月の間に、日本造血細胞移植データセンターの移植登録一元管理プログラムに登録している移植施設で、急性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患、成人T細胞白血病／リンパ腫に対して、初回の臍帯血移植を行った16歳以上の患者さんです。

【研究の目的・方法】

臍帯血移植は、適切なドナーが得られない場合などに用いられる移植方法です。移植後の生存率は他のドナーからの移植と比べて遜色ない成績となってきていますが、治療関連死亡率は未だに高く、臍帯血移植の課題となっています。一般的に移植の治療関連死亡のリスクを予測する方法としてHCT-CIスコアが広く用いられていますが、臍帯血移植に特化したものではないため、HCT-CIスコアにより臍帯血移植でも十分な評価ができるとは言えません。臍帯血移植に特化した治療関連死亡のリスク予測モデルを構築することで、治療関連死亡のリスクを考慮した治療戦略が立てられるようになると考えられます。

【研究に用いる試料・情報の種類】

日本造血細胞移植データセンターから情報提供を受けます。情報の種類は、患者さんと疾患の情報(年齢、性別、疾患名、病期など)、ドナーさんと移植に関する情報(使用薬剤、HLAアレル一致度、前処置など)、移植後経過に関する情報(GVHDの有無、重症度およびGVHD発症日、生死および生存確認日など)です。

【外部への試料・情報の提供】

なし

【研究組織】

自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科

【研究期間】

この研究の期間は、許可決定後から2025年12月31日までです。

【本研究に関する問い合わせ】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料の内容をお伝えすることが出来ますのでお申出ください。

また、情報は日本造血細胞移植データセンターより個人が特定できない形で提供を受けますので、仮に情報漏洩が発生した場合でも不利益が生じることはありません。何かございましたら下記の連絡先までお申し出ください。

お問い合わせ先

〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847

自治医科大学附属さいたま医療センター

Tel.048-647-2111

研究担当者：血液科 仲宗根秀樹

苦情の窓口

自治医科大学附属さいたま医療センター

総務課 Tel.048-648-5225